



Kawi

K. R. ラビンドラン  
2015-14年度国際ロータリー会長



No.3

Takasago Rotary Club

週報

高砂

### クラブ会長方針

“ロータリーをもっと知ろう”

- ① ロータリーは親睦から
- ② 友愛奉仕活動を見直そう
- ③ 地区を知ろう

例会記録 (2015. 7. 17 (金)) 通算3,042回

#### ◆開会

◆唱歌 ロータリーソング「我等の生業」

◆「四つのテスト」唱和

#### ◆ゲスト紹介

2680地区ガバナー補佐 加古川RC 長谷川昌美様  
随行者 加古川RC 船原 太郎様



長谷川様 船原様

#### ◆来訪ロータリアン

高砂青松RC 岡本崇司会員  
高砂青松RC 西中亮二会員

◆歓迎歌「松の緑」

#### ◆プログラム予定

7月24日 (金)	7月31日 (金)	8月7日 (金)	8月14日 (金)
クラブフォーラム 2015~2016 事業計画発表 各委員長	クラブフォーラム 2015~2016 事業計画発表 各委員長	クラブアッセンブリー ガバナー公式訪問 ガバナー 丸尾研一氏	休会 (お盆休み)

## ◆御挨拶

日野照彦様の御逝去にあたり（日野照彦会員の御遺族）岡本様より御挨拶



## ◆出席報告

本日 7月17日	会員数42名	出席者22名	出席率 61.11%
前々回 7月 3日	会員数42名	修正出席者35名	出席率100.00%修正

## ◆MAKE-UP

信原 智彦会員	4/29地区研修・協議会	7月10日
守光 隆会員	e-CLUB	7月10日
大久保義郎会員	e-CLUB	7月17日
藤田 茂会員	e-CLUB	7月17日
山川 晃禎会員	e-CLUB	7月17日

## ◆委員会報告

○親睦・出席委員会 結婚記念日のお花のお祝いを鉢植えかアレンジか選べる様にします。

## ◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

長谷川昌美ガバナー補佐……本日はクラブ協議会よろしくお願ひ申し上げます。

高砂青松RC岡本崇司様……日野照彦葬儀に際しまして、多大なるご厚情を賜わりまことにありがとうございました。

佐野 敏晴会長……長谷川ガバナー補佐、随行者の船原様、警報が出ている中お越し頂きありがとうございます。本日のクラブアッセンブリー宜しくお願ひ致します。

後藤 純次幹事……ガバナー補佐長谷川様、随行者船原様ようこそお越し下さいました。

坂井 智代会員……ガバナー補佐長谷川様、随行者船原様ようこそお越し下さいました。

早退1名

## ◆幹事報告（3,042回）

ガバナー事務局より

◎「職業奉仕を学ぶ」の更新版が届いております。

米山記念奨学会より

◎“ハイライトよねやま”が届いております。

※例会変更のお知らせ

◎姫路南RC

8月2日(日) 納涼家族例会 於：峰山高原ホテル「リラクシア」

8月31日(月) クラブ奉仕フォーラム 於：ホテル日航姫路

◎明石西RC

8月13日(木) 休会（お盆休み）

その他

◎7月16日(木) 佐野会長 高砂プロバスクラブへ就任ご挨拶に行かれました。

◎国際交流協会から通信が届いております。

◎明石南RCから8月例会のプログラムが届いております。



後藤純次幹事

## ◆会長の時間

昨日は高砂プロバスクラブに挨拶に伺いました。現在の会員数は11名ということで、是非新会員を紹介していただきたいとの事ですので、当クラブの会員増強も大事ですがプロバスクラブにもどなたか適任者があれば御紹介お願いします。また、森本社会奉仕委員長、坂井プログラム委員長の発案で9月11日にプロバスクラブとの合同例会を開催することになりました。どんな例会になるか楽しみにしています。

本日は、8月7日のガバナー公式訪問に向けて、長谷川ガバナー補佐をお迎えしてのクラブアッセンブリーです。長谷川ガバナー補佐におかれましては本年度の第1回の例会に続きありがとうございます。

さて後ほどご紹介があるかと思いますが、私の方より本年度の丸尾ガバナーの紹介を少しだけさせていただきます。本年度の第2680地区のガバナーは、神戸西神ロータリークラブの丸尾研一様です。1952年生まれ、現在63才でロータリーへは1989年神戸西神ロータリークラブへ入会、在籍26年になる方です。本年2月に私どものクラブが主催した東播第2グループのIMにも出席していただいた方ですので皆様よくご存じだと思います。2680地区のガバナーの行動方針は“Try hard to enjoy pure Rotary”「真のロータリーを一生懸命楽しみましょう」という行動指針です。3月に行われた会長エレクト研修セミナー、PETS（Presidents-Elect Training Seminar）のなかで会員数の減少、



佐野敏晴会長

地区財政の悪化、実施プログラムのマンネリ化等のお話をされていまして。私からでしたら間違った情報が皆さんに伝わるといけませんので詳細は長谷川ガバナー補佐からお聞きください。1つだけ紹介させていただきますが今後、会長になれる人は事前にP E T Sといつも4月29日に行われる地区研修・協議会への出席が条件ですのでこれから会長をされる方は必ずこの日は空けておいてください。長谷川ガバナー補佐のクラブアッセンブリーの時間は必ず30分とるようにと前ガバナー補佐の山本会員から言われていますのでこれで会長の時間を終了いたします。

## ◆本日のプログラム

### クラブアッセンブリー 「ガバナー補佐 御挨拶」

ガバナー補佐 長谷川昌美 氏

皆様、こんにちは、佐野会長・後藤幹事様には色々お世話になっております。

今日は、台風11号の影響で雨風の激しい中、公式訪問前のクラブ・アッセンブリーを開催していただき有難うございます。

まず、ガバナー補佐の地区に対する責務・クラブに対する責務を教えられ、本年度東播第2グループの運営方針を4つの目標として掲げました。

ここで、その4つの目標を少し詳しく述べてみたいと思います。

1. 2015～16年度RI会長 K.R.ラビンドラン氏は、スリランカ、コロombo RCの会員で紅茶のティーバッグのタグと小袋の生産量で世界一の会社の創設者兼CEOです。“Be a gift to the world” “世界へのプレゼントになろう”と発表されました。丸尾ガバナーは“Try hard to enjoy pure rotary” “ロータリーを一生懸命頑張ろう”という行動指針を掲げられています。理解を深めるという仕事ですが、詳しくはロータリーの友、ガバナー月信に述べられています、ガバナー公式訪問で詳しく述べられると思います。
2. それぞれのクラブが何らかの問題点を抱えながらクラブ運営・奉仕活動に精一杯努力されています、この点に関しては、本日のクラブ協議会等で共に深く考えたいと思います。
3. ロータリーの会員減少、衰退が懸念されています。会員増強と退会防止は常に重要な課題です。それには第一にロータリーに魅力がなくてはなりません。ロータリーの魅力とは何でしょう？

親睦と奉仕についてちょっと“歴史的なお話”をしたいと思います。

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で商業道德の欠如が目につくようになっていました。ちょうどその頃、ここに事務所を構えていた青年弁護士



ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と1905年2月23日にシカゴロータリークラブを誕生させました。最初の定款には『親睦の充実』と『職業上の利益の向上』が謳われています。会員の事業上の利益の向上を図るために、会員同士の物質的相互扶助が盛んにおこなわれていたのです。

1906年4月にドナルド・カーター（弁理士）に『物質的互惠』の特典を説明してシカゴ・クラブに入会を薦めたときに彼は、職業を通じて社会に貢献することが自分の存在する証になるのであって、自分たちだけの利益にこだわって、社会的に何もしない団体に将来性も魅力もないと述べ、入会を断ったのです。

この事件をきっかけに、ポール・ハリスは『物質的互惠』と『親睦』にのみ終始することに限界を感じ、親睦と助け合いに奉仕の考え方を取り入れて定款を改正することを条件にドナルド・カーターに再考を促し、彼も快く入会を了承しました。

ところが、奉仕の強調は、親睦と助け合いの後退を来し、クラブがバラバラになったのです。“親睦派”と“奉仕派”の確執です。

しかし、米山梅吉氏は、“ロータリークラブは、奉仕クラブではない”“社交クラブで良い、奉仕する人を育てるクラブである”と述べています。親睦と奉仕の調和が大切だということだと思います。

また、ロータリーの魅力を作るには基本的ルールを守る事が大切だと思います。決議23-34、一業種一会員制、例会出席の原則などが、時代と共に国際ロータリーの方針が変わってしまったと感じられるロータリアンもおられると思います。

例会について、米山氏は、「ロータリーは人生の道場である」「入りて学び、出でて奉仕せよ」「心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去る」と述べています。

又、丸尾ガバナーは、週一回の例会は、「非日常性・オアシス」であると述べられています。例会に出席することは、仲間と心を磨き合い、境地を得て、自分の職業に有益なひと時を持つ。例会出席が“原則”であり、“ロータリーの魅力である”と言う事だと思います。

4. 最後に、来年2月にI.M.がごぞいます。東播第2グループ5クラブの親睦とロータリー・デイを兼ねて一般市民の皆様にもロータリーをよく理解していただく機会になるように考えています。どうか大勢の参加を宜しくお願い申し上げます。

次に、ロータリー財団について考えてみたいと思います。

創立時の目的であった国際親善奨学金制度に代表される教育的プログラムが主流でしたが、最近では、人道的支援、慈善事業へと傾斜してきました。即ち、ポリオ・プラスに力が注がれているのはご承知の通りです。今やロータリーの軸足は、人道的支援、慈善事業、寄付行為に偏っています。ガバナー補佐の立場でこのようなことを申し上げるのは如何かと思いますが、寄付集めに奔走する火の車のようなでなりません。

ロータリーはどこへ行ってしまおうのでしょうか？我々は20世紀初頭の輝かしいロータリーの原点を学びその本質を忘れてはならないのです。

最後に、R I、地区、クラブについて考えてみたいと思います。

ガバナーはR Iの役員です。地区委員もR Iサイドの組織です。クラブはR Iとの契約に違反しない限りにおいてクラブには自治権があります。管理主体は、クラブ理事会にあるのです。最高決定機関はクラブ理事会です。地区から色々な要請がございますが、どうぞ、伝統ある高砂RC流儀を大切にとお願いしたいと思います。

私の拙い話を色々申し上げましたが、何分、にわか勉強で、ご批判もあろうかと存じます。ロータリーの正確な話は、セミナー・地区大会などにどうぞ参加頂き、より理解を深めて、創立110年にも亘る素晴らしいロータリーの神髄に触れて頂きたいと思います。



会長 佐野 敏晴                      幹事 後藤 純次  
例会日時 毎週金曜日12時30分より  
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 加納 基宏  
例会場 高砂商工会議所 2階会議室  
[http://www.winwin.ne.jp/~takasago\\_rc/](http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/)